

第1学年3組 算数科学習指導案

平成25年1月23日(水) 第5校時

1 単元名 20よりおおきいかず

2 単元について

(1) 児童観

児童は明るくて元気が良いが、反面、間違えたり失敗したりすると泣いてしまう児童も少なくない。かさの学習では、進んでいろいろな容器を使って量ろうとしたり、広さの学習では、新聞紙や画用紙の比較する方法を考えたりと意欲的であった。しかし、「数と計算」の学習では、問題の解法をいろいろ考えることよりも、計算でいかに速く答えを出すかに興味を持っている児童が多い。発表についても、あまり意欲的ではなく、なぜ、どうしてそう思ったのかなど追及すると、だまりこんでしまう児童も少なくない。

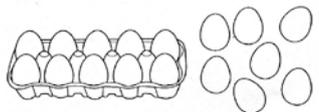
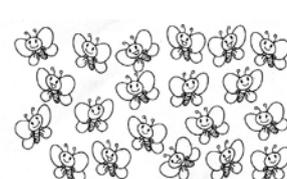
算数科の意識調査では、「好き」と答えた児童が24人、「嫌い」が3人で、ほとんどの児童が好きと答えている。嫌いの理由は、「難しい」「わからない」「めんどくさい」ということであった。

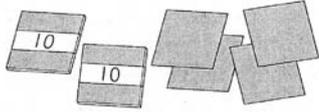
算数の時間のどんな時が楽しいかに対する質問では、「解き方を考えているとき」17人、「説明を聞いているとき」18人、「ドリルを解いているとき」18人であったが、「自分の考えを発表するのが好き」と答える児童は8人と、発表することには自信のない様子がみられた。そこで、全体の場で発表する前に、簡単に隣の席の児童と話し合いをさせ、確認する機会を持つことで、自信を持って発表できるようにさせたい。

「ノートを使い方」については、自分の考えを書こうとする意欲がだんだん出てきてはいるが、うまく自分の考えを書き表すことが出来ず、黒板を写して学習の流れを学習する段階の児童も多く見られる。少しずつでも取り組む意欲の出るよう声かけを多くしていきたい。

尚、レディネステストの結果は以下の通りである。

レディネス問題 (20よりおおきいかず)

番号	問題	出題の意図	正答
①	たまごは、なんこありますか。 	10のまとまりとばらの数で 数をとらえることができるか。	17こ
②	ちょうはなんびきいますか。 	20匹の蝶を10でかこんで、あるいは、しるしをつけながら数えることができるか。	20びき

③	<p>□にかずをかきましょう。</p> <p>① $18 \rightarrow \square \rightarrow 20$</p> <p>② $\square \rightarrow 12 \rightarrow 14$</p> <p>③ $5 \rightarrow 10 \rightarrow \square$</p>	数の並び方を理解しているか。	<p>① 19</p> <p>② 10</p> <p>③ 15</p>	<p>%</p> <p>100</p> <p>74</p> <p>85</p>	<p>11</p> <p>無答</p>
④	<p>大きいほうのかずを○でかきましょう。</p> <p>① $10 \quad 12$</p> <p>② $14 \quad 17$</p> <p>③ $20 \quad 18$</p>	数の大小を比較することができる。	<p>① 12</p> <p>② 17</p> <p>③ 20</p>	<p>%</p> <p>100</p> <p>100</p> <p>96</p>	<p>無答</p>
⑤	<p>いろがみは なんまいありますか。</p> 	10の束二つとばら4枚で、24枚がわかる。(未習)	24枚	<p>%</p> <p>85</p>	6枚

レディネステストの結果から、問題①では、10のまとまりになった数とばらの数をとらせることは全員できていることがわかる。卵パックは生活の中で良く目にすることも多いので、視覚的にもとらせやすかったのだと思われる。問題②では、ばらばらに散らばった蝶に印をつけたり、10のまとまりにして線で囲んだりして、10のまとまりを自分で作って数えることがやや苦手であることがわかる。本単元の学習では、丁寧に印をつけて数える機会を多く持たせたい。③では特に、2とびで数を数えることができない児童が7人と多かった。生活の中で、2とびや5とびで数える経験が少ないと思われる。これも、単元の指導の中で補充問題に多く当たらせたいと思う。問題④の数の大小については、ほとんどの児童が理解していることがわかる。問題⑤は未習事項ではあるが、正答率が高かった。しかし、10のまとまりの意味を考えられない児童も4名いるので、10のまとまりと端数を合わせて数を表示するように丁寧に扱っていきたい。

尚、「1から100までの数」を言えるか一人一人確かめたところ、数をとばしてしまう児童が2名いた。本単元の100を扱う場面では「100まで唱える」場面も意識的に作って行きたい。

(2) 教材観

小学校学習指導要領解説では、以下のように記されている。

【A「数と計算」】

(1) ものの個数を数えることなどの活動を通して、数の意味について理解し、数を用いることができるようにする。

イ 個数や順番を正しく数えたり表したりすること。

ウ「数の大小及び順序を考えることによって、数の系列を作ったり、数直線の上に表したりすること。」

オ「100までの数について、その表し方と意味を理解すること。」に関連する内容である。

カ 簡単な場合について、3位数の表し方を知ること。

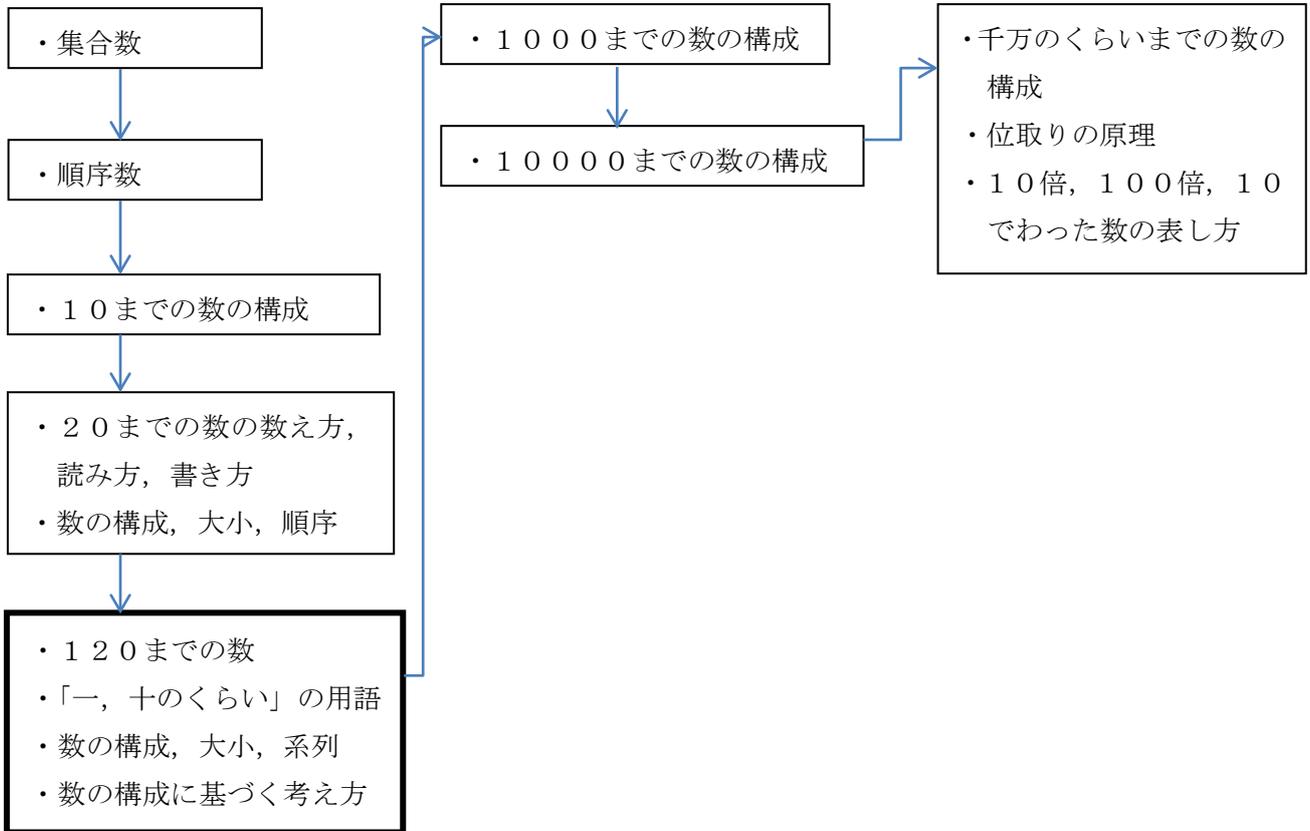
キ 数を十を単位としてみること。

<教材の関連と発展を示した系統表>

《1年》

《2年》

《3年》



本単元では、120までの数についてその表し方の原理を理解し、数の概念について理解を深めることをねらいとしている。20までの数では、「10といくつ」というように10のまとまりが1つしかできなかったが、本単元では、「10のまとまりがいくつと端数がいくつ」として20より大きい2位数を扱う。

児童は、「数」の領域についてこれまでに、「10までのかず」「10より大きいかず」で、扱う数の範囲を段階的に拡張しながら、20未満の数の数え方、読み方、書き方や、大小関係、系列、数構成についての学習を行っている。そこで、本単元「おおきなかず」では、さらに扱う数の範囲を拡張し、120までの数について、作業的な算数的活動を通して、10をまとまりとして数えるよさや、2位数は10のまとまりの個数と端数の個数で表されるという、十進位取り記数法についての理解をより一層深めさせることをねらいとしている。また、10が10個で100、1が100個で100、100が1個で100など、100の相対的な大きさについて考えさせたり、数直線を用いて数系列や数の大小について考えさせたりすることで、基礎的な数概念を形成し、数についての感覚を豊かにしていくことになる。

ここでの学習で身に付けた基礎的な数概念や感覚は、第2学年の「1000までの数」と「1000より大きい数」で段階的に数範囲が拡張されていく際に活用され、数概念をより一層深めるとともに、数についての感覚をさらに豊かにしていくものである。

(3) 指導観

レディネステストの結果から、③の2とびの問題の正答率が特に低かったので、本時に至るまでに何度も繰り返し唱える活動を多く取り入れ丁寧に取り扱いたいと思う。また5, 10, 15, 20で数をとらえることの良さにも気付かせたい。

算数アンケートの結果から、本学級の児童が算数の時間で楽しさを感じているのは、解き方を考えている時と、友だちの説明を聞いている時が多いことが分かった。その反面、自分の考えを発表することが苦手な児童が多いので、全体に発表する前に隣同士で自分の考えを話し合わせることで自信を持たせたい。友だちの考えを聞くことで、自分の考えを確認したり修正したり補充したりでき、児童の発表への抵抗を少なくすることができるであろう。

本単元では、数の仕組みの基礎となる数え方や読み方、書き方に気付かせる。10のまとまりを作ることで大きな数も数えられることを、体験を通して理解させたい。また、活動の中で、1ずつ数えるばかりでなく、2ずつ、5ずつ数えたりすることの良さにも目を向けさせたい。数え棒やブロックを用いたり、線で囲んだりする算数的活動を十分に取り入れていきたい。

2位数の構成については、10のまとまりの個数と、端数の個数の数え方をもとにして構成されていることを理解できるようにし、数の大きさを考えるときに十を単位にして考え、数の構成についての感覚を豊かにしていくことにもつなげたい。

さらに、100までの数の表を作る活動では、規則性を発見したり、数直線と関連づけて、数直線上の数を讀んだり、数に対応する点を見つけたりして、数の系列や大小関係といった数概念の理解を深めさせたい。数は100を超えても続いており、100よりも大きい数が存在することに気づかせ、その表し方もこれまでに学習したように1が10個で10、10が10個で100といった十進位取り記数法によって構成されていることをしっかりと理解させていきたい。

① 研究主題とのかかわり

<p>研究主題 「考える力を高め 学ぶ楽しさを味わえる授業を目指して」</p> <p>～考えを表現し 互いに聞きあう算数の授業～</p>		
目指す児童像	自分の考えをノートに書き、友達に伝えることができる。	うなずいたり質問を考えたりしながら聞くことができる。
仮説	自分の考えをノートに書き、友達に伝えることができれば、考える力を高めることができるだろう。	うなずいたり質問を考えたりしながら互いに聞きあうことができれば、学ぶ楽しさを味わうことができるだろう。
本時の手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が興味をもちそうな場面設定を考えることで、自分の考えをもたせ、ノートに書かせる。 ◆一の位、十の位（キーワード）を示して自分の言葉で理由やまとめを書くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表を聞く児童がうなずいたり、質問を考えられるように、発表する児童の発表の仕方を工夫する。 ◆自分の考えと比べながら興味をもって聞くことができるよう、発表する児童は、発表を

		<p>聞いている児童がうなずいたり，首を傾げたりすることができるような機会を作る。</p>
--	--	---

《聞き合いの充実を目指して》

低学年では、うなずいたり質問を考えたりしながら聞くことができることを目指している。「聞き合い」の場ではただ聞くだけではなく、

- ㊦ 声に出してうなずく
- ㊧ 疑問に思ったら首を傾げる
- ㊨ 相手の意見を賞賛する

の3つのポイントを踏まえて聞き、自分の考えと同じなのか違うのかの意思表示をすることで、考えを深め学ぶ楽しさを味わいたいと考えている。不安な児童もまず二人組で話し合いをさせることで、確信をもてるようになる。

自信をもって発表できるようにするためにも、聞き合いを大切にしたい。

② 教材について

20より大きい数について、実物を何度も数えさせ、量感をもたせたい。例えば、自分たちが生活科で拾ったどんぐりをプリンカップで10のまとまりを作って具体的に数える活動を行いたい。

本時の導入では児童が意欲的に課題に取り組めるよう、教科書の数表だけではなく、ばらになったジグソーパズルのピースがどのようにつながるかを考えさせるようにした。その活動を通して数の並びのふしぎに気づき、多様な考えを引き出し、最後に隣同士で問題を出し合う活動を行い、数の面白さを感じとらせたい。

3 単元の目標

○2位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数を用いることができるようにする。

【算数への関心・意欲・態度】

- ・10ずつまとめて考えることの良さや、十進位取り記数法の良さに気づき、ものの個数を数えたり表したりしようとする。
- ・2位数の構成を基に、数の見方や計算の仕方などに活用しようとしている。

【数学的な考え方】

・既習の数の表し方の仕組みを基に、2位数の数え方や読み方、書き方などを考え、表現することができる。

- ・10を単位とする見方や数の構成、既習の計算を活用して、簡単な場合の2位数の加減計算の仕

方を考え、表現することができる。

【技能】

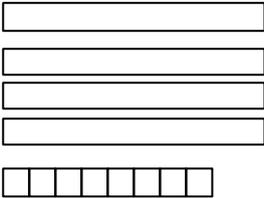
- ・ 2位数や簡単な3位数について、個数を数えたり、数を読んだり書いたりすることができる。
- ・ 簡単な場合の2位数の加減計算ができる。

【知識・理解】

- ・ 2位数や簡単な3位数について、数の読み方や書き方、数の構成や大小などを理解する。
- ・ 2位数の数の構成を、加法や減法の式に表せることを理解する。

4 単元の指導計画

時	学習内容	問題、課題とまとめ	主な評価規準
1	2位数の数え方	<p>問 どんぐりは何個ありますか。</p> <p>課 見てすぐにわかる並べ方を考えましょう。</p> <p>ま 10ずつにまとめるとよい。</p>	<p>考 既習を基に、2位数をかぞえようとしている。(観察・発言)</p>
2	2位数の唱え方と位取りの原理と記数法	<p>問 数え棒の数を数字で表しましょう。</p> <p>課 「にじゅうろく」「さんじゅうろく」を数字で表しましょう。</p> <p>ま 10のまとまりいくつと、ばらの個数いくつで表す。十の位は左に、一の位は右に表す。</p> <p style="text-align: center;">26 36</p>	<p>考 既習をもとに、2位数の数え方や読み方、書き方などを考えている。(観察・発言)</p> <p>技 2位数を書くことができる。(観察・発言)</p> <p>知 位取り記数法は書く位置の違いを利用している。(観察・発言)</p>
3	2位数の数え方の理解	<p>問 数を数えましょう。</p> <p>課 わかりやすく数えるにはどうしたらよいでしょう。</p> <p>ま 10ずつまとめて数えるとわかりやすい。</p>	<p>関 10ずつまとめて数えることの良さに気付き物の数を数えようとしている。(観察・発言)</p>
4	2位数の数え方の理解 (工夫して数える)	<p>問 大きな数を数えましょう。</p> <p>課 まちがいなく数えるにはどうしたらよいでしょう。</p> <p>ま 10ずつ線でかこんで、10のまとまりとばらの数を合わせればよい。</p>	<p>技 20より大きい数を10ずつまとめて数えることができる。(観察)</p>

5	2位数の構成の理解	<p>問 48を表しましょう。</p> <p>課 数をブロックや数字で表そう。</p> <p>ま 十のまとまりとばらの数で表す。</p> 	<p>考 2位数を位取りにして10のまとまりの数と10未満の数の合成とを考え、言葉や位取り板ブロックなどを用いて表現している。</p> <p>(観察・ノート)</p>
6	100の唱え方、読み方、書き方の理解	<p>問 ペンギンの数を数えましょう。</p> <p>課 10のまとまりが10個の表し方を知ろう。</p> <p>ま 10が10こで百といい、100と書きます。</p>	<p>知 10が10集まると、百になることを理解している。</p> <p>(観察・発言)</p>
7 本時	数表から数の並び方の規則性に気付き、数の規則性や構成を理解する。	<p>問 どんな数が入るでしょう。</p> <p>課 表の数のならびかたを調べましょう。</p> <p>ま 横の列…十の位の数が同じ右に一つずつ大きくなる。左に一つずつ小さくなる。縦の列…一の位の数が同じ下に十ずつ大きくなる。上に十ずつ小さくなる。</p>	<p>関 隠された数を考えることで、数の並び方の規則性に気付き、数の構成を考えようとしている。(観察)</p> <p>考 十の位、一の位の数字に着目して、数表の数の並び方のきまりを考え、言葉などで説明している。</p> <p>(観察・ノート)</p>
8	100までの数の系列や大小の理解	<p>問 46より3大きい数は何でしょう。</p> <p>課 数の線を使って調べましょう。</p> <p>ま 数の線では右にある方が大きい数になっている。</p>	<p>技 数直線をつかって数を読んだり表したりすることができる。(観察)</p> <p>知 数直線と数を対応づける活動を通して、数の系列、大小を理解している。(観察)</p>
9	120程度までの数の唱え方や系列の理解	<p>問 どんぐりは何個ありますか。</p> <p>課 百より大きな数を数えましょう。</p> <p>ま 百より大きな数は、百のまとまりといくつで考える。</p>	<p>知 100より大きな数について、100と1～2位数の合成ととらえれば良いことを理解している。(観察・発言)</p> <p>技 100より大きい数を数えたり唱えたりすることができる。(観察・発言)</p>

10	2位数の数の構成 (10がいくつ)に 基づいた加減計算の仕方 の理解	<p>問 色紙はぜんぶで何枚ありますか。</p> <p>課 50 + 20 の計算のしかたを考えましょう。</p> <p>ま 10 のまとまりをもとにして 5 + 2 = 7 10 が7つで70 と考えると計算できる。</p>	<p>考 何十±何十の仕方を10を単位として考え、具体物や言葉を用いて説明している。</p> <p>(観察・発言)</p>
11	2位数の数の構成 (何十といくつ)に基づいた 加減計算の仕方の理解	<p>問 □に数を書きましょう。</p> <p>課 30 + 5, 35 - 5 の計算のしかたを考えましょう。</p> <p>ま 30 + 5, 35 - 5 の計算は、位を分けて計算すればよい。</p>	<p>知 30 + 5, 35 - 5 の計算は、2位数の数の構成(何十といくつ)を基に、位を分けて計算すればよいことを理解している。</p> <p>(観察・発言)</p>
12	繰り上がりや繰り下がりのない2位数と1位数の 加減計算の仕方の理解	<p>問 ① 5 + 3 ② 28 - 3</p> <p>課 25 + 3, 28 - 3 の計算の仕方を考えましょう。</p> <p>ま 一の位の数字を見て計算すればよい。</p> <p>25 は20と5 5 + 3 = 8 25 + 3 = 28 28 は20と8 8 - 3 = 5 28 - 3 = 25</p>	<p>知 25 + 3, 28 - 3 の計算の仕方は一の位のみに着目して考えればよいことを理解している。</p> <p>(発言・ノート)</p>
13	すごろくゲームを通し、 100までの数についての 理解を深める。	<p>問 すごろくゲームをしましょう。</p>	<p>関 既習事項を適切に用いて活動に取り組もうとしている。</p> <p>(観察・発言)</p>
14	身の回りの120程度までの ものの数を数える	<p>問 いろいろな物の数を数えましょう。</p>	<p>関 身の回りのものの数に興味をもち、その数を数えようとしている。</p> <p>(観察)</p> <p>技 2位数の数のものを数えることができる。</p> <p>(観察)</p>
15	練習問題		<p>知 2位数や簡単な3位数について、数の読み方や書き方、数の構成や大小などを理解する。</p> <p>(観察)</p>

	<p>C6 4, 14, 24とか, 6, 16, 26と並んでいるので, 同じように5, (15), 25だと思います。</p> <p>2. 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> かずのならばかたをしらべましょう。 </div> <p>T では, 残りの問題を自分で解いてみましょう。数の並び方がどうなっているか, 理由も忘れずに書いてくださいね。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto;"> </div>	<p>・②のピースを全員に配布する。</p>
もとめる5分	<p>3. 自力解決をする。</p> <p style="text-align: center;"><予想される児童の反応></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>C1 ▲は27 一のくらいが, 左に1つずつ小さくなるから。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>C2 ▲は27 17の下だから17より10大きくなる。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>C3 ▲は27 17, 18, 19の下だから27, 28, 29になる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>C4 ▲は27 17の下だから10大きくなって, 十のくらいだけ2にかわる。</p> </div> </div>	<p>(関心・意欲・態度)</p> <p>◎数表の空いた部分の数字を考え, 十の位, 一の位の用語を使って理由を考えようとしている。</p> <p>○数表の空いた部分の数字を考え, 理由を考えようとしている。</p> <p>☆数字が考えられたら, 前後左右の数字を元につながり方に気付くよう声をかける。</p> <p>★前後左右の数字の並びから, 数字を見つけられるように援助する。</p> <p>*ノート</p>
ききあう15分	<p>4. 隣の児童同士で話し合う。(聞き合い①)</p> <p>T お隣の友だちに自分の答えとそのわけを聞いてもらいましょう。聞く人も, なぜをちゃんと聞いてくださいね。</p> <p>C1 ぼくは, ▲には, 27が入ると思うよ。左に1つずつ小さくなっているから, 29, 28の次は27だと思うよ。</p> <p>C4 そうだね。私もそう思ったんだ。</p>	<p>◆ノートを見せ合いながら, 自分の考えを話そうとしているペアをほめる。</p>

5. 発表する。(聞き合い②)

T みんなで答え合わせをしてみましょう。

C1 ▲は27です。19, 18, 17って左に1つずつ小さくなっているから、29, 28, 27になると思います。

C2 ▲は27です。17の下だから、10大きくなります。十の位が2になって27です。

C3 右に行くと1ずつ大きくなるから、17, 18, 19になっているでしょ。だから、下も27, 28, 29です。

T 9, 8って7がないよ。7じゃないのかな。

C4 十のくらいが2じゃないとだめです。

C 左に行くと小さくなる。28より1小さい数です。

C 右にいくと、大きくなっているから、27なら、28, 29ってちゃんと1つずつ大きくなります。

T ほかに気がついたことはありますか。

C これ、つながってる。

C でも、変だよ。欠けてる。

T ここは何が入るのかな。

C 0です。

T どうして、0だといえるのかな。

C 左へいくと小さくなるから、9876543210。1より1小さいから0です。

T でも、下を見ると10ですよ。1つ減るのなら9が入るでしょう。どうして、0なの。

C 10から、20って10増えているから、縦は、10ずつ変わるんだと思います。

C 上に行くと20から10に減ったから、10から10へって、10-10は0です。

◆頷きながら聞いている児童をほめる。

・位という言葉を使って説明できていることをほめる。

・横に見て、左へ行くと小さくなり右へ行くと大きくなるという大切な気づきを板書する。

・もう1枚のピースを加えると、1から29までつながることに気付かせる。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	♥	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	▲	28	29

・空いたところには、0が入ること、数表が0から始まっていることに気付かせる。

広
げ
る
8
分

6. 30以上へ数を広げて確かめる。

T 0から29までに見つけた数の並び方は大きい数でも、同じなのでしょうか。

C きっと同じだよ。

T あらたいへん、印刷がぬけちゃった。空いている所の数字がわからなくなっていました。

C 簡単だよ。

・一の位が3の数を抜いた数表を配布。

C わかる。わかる。だって、横や縦見ればわかるもん。

T 数字を入れたら、隣の友だちと聞き合いをしてください。なぜ？を忘れないでね。

C ここは、縦に33、43、53、63、73、83、93だよ。

C そうだよ、だって上から3、13、23ってこの列は一の位に3がつながっているんだものね。

T 発表してください。

C 最初の数は、隣の数が32だから33です。

C 上が33なら下に行くと10増えるから43です。

C わかった、33、43、53、63、73、83、93・・・だ。

T 100まで埋まったので、みんなで読んでみましょう。

C あれっ変だ。65のつぎは60じゃない。

C おかしいよ。50の下は、60です。

T どうして。みんな6ってかいてあるよ。

C だめです。ここの列は縦に一の位が全部0になっているから。

C 横の列は、一の位が123456ってなっているはずなのに、なっていない。

5のつぎは6です。だから64のつぎは、65だし、65のつぎは、66です。

7. 練習する。

T 並び方がわかったら、お隣同士で問題を出し合しましょう。

25 26 27 28
34 35 ○ 37 38
44 ○ ○ ○ 48
54 55 ○ 57 58

図 数表0から100

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32		34	35	36	37	38	39
40	41	42		44	45	46	47	48	49
50	51	52		54	55	56	57	58	59
66	61	62		64	65	66	67	68	69
70	71	72		74	75	76	77	78	79
80	81	82		84	85	86	87	88	89
90	91	92		94	95	96	97	98	99
100									

(思考・判断)

◎十の位、一の位の用語を用いて、数の並び方を説明できる。

○自分なりの言葉で数の並び方を説明できる。

☆前後左右の数を基に、つながり方に気付くよう声をかける。

★前後左右の数字の並びから、数字を見つけられるように援助する。

・全員で0から100までを唱え、表記と読み方を確認する。

◆多様な意見を出し合い、聞き合う態度を養うために、うなずきながら聞くようにする。

・数表を使った問題を例示し、説明する。

・0から100までの数表と数字をかくためのピースを使い、互いに問題を出し合う。

・数の並び方からかくれた数字を見つけ出せるように、見つけにくい児童にはヒントを出してあげるよう指示する。

<p>ふ り か え る 7 分</p>	<p>8. まとめる</p> <p>T 今日、今日は数がどんなふうに並んでいるか、たくさん見つけられましたね。みんなが気付いたのは、どんなことだったかな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>この表は0から始まっている。</p> <p>横の列 十の位が同じ みぎへ1ずつ大きくなる ひだりへ 1ずつ小さくなる</p> <p>縦の列 一の位が同じ 下へいくと、10ずつ大きくなる。 上へいくと、10ずつ小さくなる。</p> </div> <p>9 学習を振り返る。</p> <p>ひ ひとりで考えられたか。</p> <p>が 学習したことを使えたか。</p> <p>し 質問を考えながらきいたか。</p> <p>感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横の列，縦の列に着目してきまりをまとめられるようにする。 ・0について，数表の始まりになっていることを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ノートに自己評価（ひ・が・し）を書かせる。
--	--	--